

米軍無人機 MQ-9 の一時展開に関する住民説明会概要

開催日時	令和4年7月13日(水) 18時30分～20時45分
開催場所	リナシティかのや
出席者	市内：72人、市外：3人 ※報道関係者除く
質疑応答の概要	<p>一時展開することについて</p> <p>【問】情報収集活動は1年間で終わるはずがない。その後は鹿屋基地で運用を行っていくのか。</p> <p>(防) →海上自衛隊を含む自衛隊においても、情報収集能力を強化していかなければいけないと考えている。鹿屋基地のみならず自衛隊全体として無人機の運用を行うこととして予算を計上している。</p> <p>【問】一時展開の期間は本当に1年間で終わるのか。</p> <p>(市) →これまでの防衛省とのやり取りの中で確認をしており、協定にも期間は盛り込んで、内容を担保したい。</p> <p>【問】1年間で情報収集活動は終わるということか。</p> <p>(防) →自衛隊でも情報収集能力の強化を進めているところである。本年度三沢基地で自衛隊の無人機であるグローバルホークの運用を始めている。また衛星を活用した情報収集態勢も検討している。自衛隊として全体の底上げをしていくという取組をしている。本件については、米側とも1年間の情報収集活動として確約している。</p> <p>【問】今回の一時展開は米側から申し入れがあったのか。米側の言うことを何でも後押しするのは間違っていると思う。</p> <p>米兵が1年間も滞在すれば、それは米軍基地化になっているのではないか。</p> <p>(市) →日米同盟のもとにおいて日本の安全安心が守られているものと理解している。外交努力はもちろん大切であり、日米間で努力していると思う。基地を抱えるまちとして今後この問題とどのように向き合っていくのかは、大変難しい問題である。今後の鹿屋基地の在り方を中長期的な視点で示していただきたいと思う。</p> <p>なお、米軍基地化をしないというのは一步も譲れない。何をもちて米軍基地化というかは難しいが、今回の一時展開は施設も仮設であり展開が終わったらすぐに撤収すると聴いている。1年間についてはしっかりと明文化して防衛省と約束を取り付けたい。</p> <p>(防) 情報収集活動は米側が一方向的に押し付けたものではなく、日本にとっても必要だと考えている為、このような形で説明をしているところである。</p> <p>【問】もっと時間をかけて説明をすべきではないか。あらゆる手段を使って市民に説明会に来てもらう努力をすべきである。</p> <p>(市) →行政放送や各種団体に直接声掛けする等、可能な限りの周知に努めた。</p> <p>【問】米兵は入国する際パスポートが要らなくなると、コロナ対策はどうなるのか。</p> <p>(防) →日本に入国する前の72時間以内に検査を受け、日本に来てからも日本で実施しているものと同様の基準を用いることになっている。仮に、展開後にコロナが発生した場合は、今回展開する中に衛生兵もおり米軍施設に移設するという事になっている。政府と米国政府の間できちんと議論し調整しているため、政府として米側にこれを守らせていく。</p> <p>【問】現地連絡所の体制について、ワンストップで対応できるような体制にしてもらいたい。</p>

【問】近隣市町への説明会は行わないのか。米兵は休日になると市外へ出ることも想定される。

(市) →周辺市町の関係窓口へ鹿屋市としてどのような思いで容認に至ったのかお知らせし、事件事故等が起こった際の対応等も説明を行い、住民等への周知をお願いしたい。

【問】自衛隊敷地内に宿舎等の施設の設置はできなかったのか。格納庫についても既存のもので対応可能か不安。

(防) →海上自衛隊の運用に支障を与えないのが大前提である。事前調査もさせてもらったがキャパシティ的に難しいところがあった。格納庫等の施設については現地調査の際に対応可能であることを確認した。

【問】今回の一時展開は、KC-130 のローテーション展開と同じようなことになるのではないかと危惧している。今のところ想定された分だけ訓練が行われていない。防衛省と米軍とで思惑が異なっているのではないか。当事者である米兵がこの場にいないまま説明会が行われていることについてどのように考えるか。

(市) →この場に米兵を呼ぶというのは、KC-130 のローテーション展開、今回の無人展開についても想定していなかった。今後、米兵が来るとなった場合には、代表者等と面会をして、市民の不安や疑問等について確認したい。

【問】市として、一時展開に前向きな意見を市民から聞いていたら教えてほしい。また、市から市民へ求めるものがあれば教えてほしい。

(市) →前向きな意見としては、経済が活性化になるといった声がある。市民に求めることとしては、米兵と友好的な関係を築いていけたらと思う。

MQ-9について

【問】MQ-9が鹿屋市上空を飛ぶことに不安である。

(防) →鹿屋市を飛ぶのは基本的に離発着時のみ。その後は速やかに海上へ移るため、陸地の上で大規模な訓練等は想定していない。

【問】事故率はどのようになっているのか。またどのような場面で事故が起きているのか。

(防) →10万時間当たりのクラスAと呼ばれる事故については、2.32という数値である。事故率は基本的には低いと思うが、滑走路に停まっていた機体にトラックがぶつかってきた場合も事故とみなすため、評価が難しいところがある。

しかし、アメリカにおいては民間の飛行場と同じ施設で無人機を運用しており、海上保安庁が試験的に使用した際にもトラブルは起こっていない実績がある。

事故の場面については、様々なケースがあり、離発着時が多いわけではない。

米軍関係者の生活・行動について

【問】リバティ制度について、今、米軍が入っている基地で、きちんと守られているのか。

(防) →米側が自主的措置として設けた指針であり、守られなかった場合は米軍内で処分を受けることになる。一時展開期間中は連絡事務所を作り、夜間も含めパトロールを実施することによってそれが確実に担保されているのかを確認したい。

【問】市として飲食店などに米軍関係者を接客する際に、意思疎通できるような支援は考えていないか。

(市) →今後、防衛省に飲食店等の関係者を対象に説明会を行ってもらえるよう要請する予定。

日米地位協定について

【問】一度米兵が鹿屋に展開してしまうと、今後、鹿屋は米兵の出張所のように気軽に使われる。沖縄国際大学で米軍ヘリの墜落事故が起きた際、事件直後日本の警察は現場に入れなかった。

(防) →令和元年にガイドラインが改正され、事故現場に日本の警察も立ち入れることが明確に規定された。環境に関する改善についても取組が行われている。

【問】日米地位協定の改正は市議会からも何度も見直しを要請しているが、回答があったのか。

(市) →日々の運用の中で改善できる事案については見直しを行っていると言っている。

(防) →運用の分野における改善は日々各分野で行っている。この件については平成17年にも鹿屋市の方から抜本の見直しが必要だということを伺っている。様々な問題に対してどのような形で解決していけば良いのかということを考えていきたい。

【問】米兵が事件事故を起こしても、日本の法では裁けないという理解で良いか。

(防) →公務外であれば日本の法が適用される。日米地位協定の適用はあくまでも公務中であるが、公務中の事件事故については、日本政府でしっかりと対応する。

【問】事件事故等が起きた場合の責任の所在はどうなっているのか。

(市) →公務外の事故であれば、一般の市民と同様の取扱いとなる。公務中であれば、国において適切に対応される。

その他

【問】歴代の市長の駐留反対の姿勢と、中西市長の今回の判断はどのように思っているか。防衛省の提案があつてからわずか2カ月足らずでの容認はマスコミも短すぎるとの報道がされているがどのように考えているか。

(市) →過去の経緯について関係者から話を伺ったところ“移駐”は基地化するという事で反対したと聞いた。先月、市内5か所で開催した住民説明会で出された市民の懸念や不安は、概ね内容は集約できたと思っている。本日の住民説明会の意見も踏まえて、今後具体的な内容については適切に対応したい。

【問】6月3日から5日にかけて行われた住民説明会と本日の説明会の参加者数は。

(市) →田崎地区学習センター 43人、大始良地区学習センター 30人
中央公民館 62人、野里集落センター 38人、西原地区学習センター 44人
本日の出席者は75人となっている。

【問】住民説明会の参加者数が全体で300人に満たない中で、容認するのか。

(市) →様々な方法で周知した結果が今回の数字となっていると理解をしている。議会での議論や基地関係連絡協議会での様々な意見やこれに対する防衛省からの回答等を踏まえ、容認を表明した。

【問】何かあった際の体制をしっかりと整えてほしい。そのために関係機関との連携を密にしてほしい。

【問】先日、市役所に行った際、観光パンフレットが英文で書かれたものが無かったのが残念だった。また、商工会議所等と連携して飲食店等に対して、英語での接客のやり方などの講習を行っても良いのではないか。

(市) →商工会議所等と連携して、トラブルの防止も含めて対応のやり方を学ぶ場を防衛省にお願いしているところである。

<p>(防) →可能な限り地元の方と様々な交流をさせてもらいたいと考えている。よろしくお願ひしたい。</p> <p>【問】 本気で外交交渉を行っているのか。平和外交を強く求めていくべきではないか。</p> <p>(防) →防衛省も外交を通じて安全保障の問題を解決していくことが何より大事であると考えている。一方で厳しい安全保障環境の中で、どの国も一つの国だけで国を守るのは難しくなってきたおり、その中で日本政府は日米同盟としてアメリカと関係をもっている。</p> <p>【問】 鹿屋基地が攻撃されるような状況を作ってほしくない。不安な気持ちが大きい。このような状況の中でも受け入れをするのか。</p> <p>(市) →今後、鹿屋基地の今後の役割や運用について、日米同盟の中で米軍との関係がどのようになっていくのか。国において、鹿屋基地の今後の運用の考え方、道筋を示してもらおうことが大事ではないかと思っている。</p> <p>【問】 山口県岩国市出身である。生まれたときから周囲に米兵がいた。これまでの間、特に大きな事件事故等があったという記憶はない。米兵はとても紳士で友好的である。フレンドシップデーなどのイベントも行われていた。</p>
